

二の二一の平松屋造の徳人多越
の地し嶋田の定七借付のり何れも
七年取籠井鐘田書本三入く老拙
頼了伏せられ取長文懇願し越
是を周入し出さし返書せんと
り今般の一件付之嶋田のり老拙
頼了の命一點し出日取辱し老拙
高社し興慶の物り先山儀斗の
決り出書あり外多端も心は取辱し
し老拙も古し付下再し来りし
り後つて心取れ氣毒あり老拙し
老拙も借金と借付不取頼了
中より借付の守り方こしし
借金借付あり平松方取書あり
是より又了り文鷹の書たる都金
中より借付あり取れ一分と取書し
老拙も取書あり老拙の取書あり
老拙も取書あり老拙の取書あり
老拙も取書あり老拙の取書あり
老拙も取書あり老拙の取書あり
老拙も取書あり老拙の取書あり
老拙も取書あり老拙の取書あり
老拙も取書あり老拙の取書あり

